



おきなわ世界塾

教育旅行プログラム

世界中でキラリと輝く人財 世界人・せかいびと・育てます

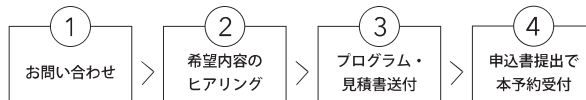
公益社団法人 青年海外協力協会 沖縄事務所 (JOCA 沖縄)

営業日：月～金 10:00 - 17:00 (土日祝・年末年始休)

お問い合わせ

電話 **080-8020-8731**

メール joca-okinawa4@joca.or.jp



実施日の**半年前**までに、
申込書をご提出ください。
日程が重なった場合、
提出の先着順で受付を優先いたします。

プログラムの様子や、
詳しい資料を請求したい方は、
右記の4つをご覧ください。



プログラムの様子
(JOCA 沖縄 HP)



資料請求
(Google Form)



公式 PV
(YouTube)



公式 SNS
(Facebook)



平和学習 × 国際理解 × 探究学習 で 世界を見る眼を養う

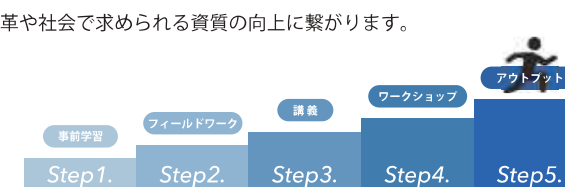


＼おきなわ世界塾 3つのポイント／

01. プログラムで伸ばせる力って？

グローバル社会で求められる資質「思考力・表現力・判断力」

アクティブラーニングと探究型の学習形式で実施。おきなわ世界塾で伸びる5つの力、
①対話力 ②適応力 ③課題発見・解決力 ④世界の情報力 ⑤ネットワーク構築力は、大学
入試改革や社会で求められる資質の向上に繋がります。



02. 「おきなわ世界塾」ならではの、を教えて！

国際協力の経験が豊かなスタッフが構成するプログラム

おきなわ世界塾のプログラムは、開発途上国で課題解決に挑んできたスタッフが企画運営しています。その経験を活かし、①沖縄の地域課題を知る、②課題解決のための先行事例や過去の失敗を学ぶ、③自分の地元と照らし合わせて共通課題への Take Action（自分出来る事）を考えるという、探究学習に求められる教育要素を意識して構成しています。

03. 生徒主体で地域課題を学べるの？

五感をフル活用した、地域密着型のフィールドワーク

旅行では訪れることの少ないローカル目線のフィールドワークでは、街中でのインタビューをミッションとしたり、専門ガイドの人に質問する時間を取ったりなど、地元の人と関わって地域課題に触れるようにしています。プログラムの後半は、頭脳も身体も使うワークショップを織り交ぜており、生徒が主体的になって体験する3時間のプログラムとなっています。生徒の学校とは違った一面が見られる事をご期待ください。

同じ円柱でも、 上から見れば「丸」 横から見れば「四角」 物事は一見同じように見える。



けれども、見る人や角度によって違う形に見える。
沖縄で出会った人々との交流で、自分の見方や価値観
を知り、多様性を受け入れる「受容力」を鍛えます。

おきなわ世界塾

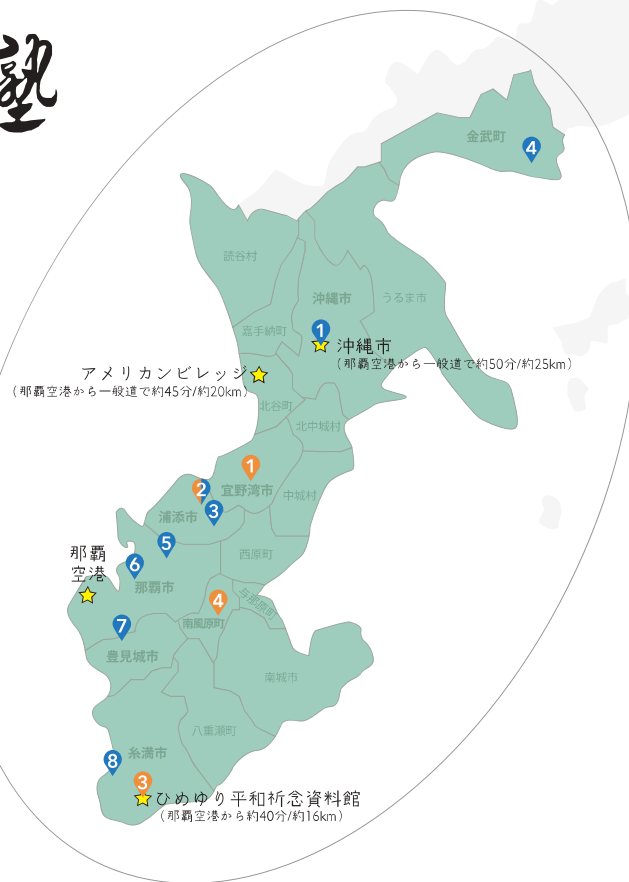
教育旅行プログラム

おきなわ世界塾では主に、

- ① 地域課題探究プログラム
- ② 平和学習プログラム
- ③ 官公庁・大学生・企業向けプログラム

の3つを提供しています。

OKINAWA MAP



※ピンはおおよその位置であり、実際の場所を示すものではありません。

5p・6p

平和学習プログラム

- ① 嘉数高台公園
宜野湾市
- ② 浦添城跡
浦添市
- ③ ひめゆり平和祈念資料館
糸満市
- ④ 南風原文化センター
南風原町

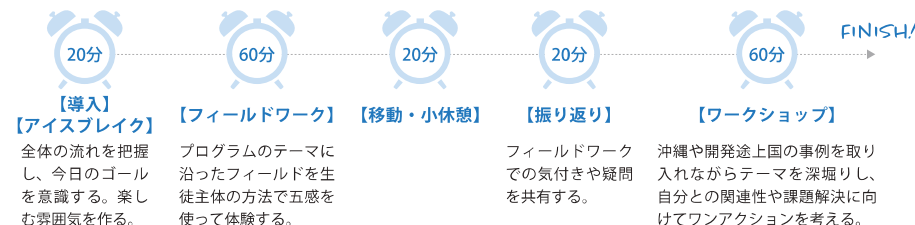
7p・8p

地域課題探究プログラム

- ① 多文化共生
沖縄市
- ② 世界人
浦添市
- ③ 命どう宝
浦添市
- ④ ゆいまーる
金武町
- ⑤ 自然
末吉公園 / 那覇市
- ⑥ 島・ひと・シゴト創生
那覇市
- ⑦ 伝統文化
豊見城市
- ⑧ 開発と文化
糸満海人工房資料館 / 糸満市

3時間プログラムの流れ

(平和学習・地域課題探究プログラム共通) ※プログラムによって、時間の変動があります。



青年海外協力協会 (通称JOCA) について

Japan Overseas Cooperative Association



スタッフ全員が国際協力の経験者

青年海外協力協会は、開発途上国の人々のために自分の持つ技術や経験を生かして活動してきた JICA 海外協力隊の帰国隊員を中心に組織されている。1983 年 12 月に発足した内閣府認定の公益社団法人です。長野を本部として、広島、鳥取等 全国 7 つに拠点があり、グローバル人材育成や地方創生事業を中心に活動しています。

沖縄事務所は 2012 年に開設し、沖縄県内の人材育成事業を主軸に、開発途上国へのスタディーツアー、日系青少年の交流やネットワーク形成、国際理解教育や SDGs 探究ワークショップを実施しています。その実績をもとに沖縄の強みを生かした国際協力や、沖縄ならではの課題解決に向けた取り組みを学ぶプログラムを作り、2015 年度よりおきなわ世界塾をスタートしました。

スタッフは JICA 海外協力隊の帰国隊員や、JICA・NGO・NPO 等で国際協力に携わった人、その他海外経験が豊富なメンバーで構成されています。スタッフとの出会い・関わりを通して、修学旅行の学びがより一層深まるようサポートします。

平和学習 プログラム

ねらい

- ① 沖縄戦の実相や基地問題の実情を知る、体感する。
- ② 気付きや疑問を言語化し、周りと共有することで、多様な価値観を認め合う、相互理解の力を養う。
- ③ 平和とは何か、平和な社会作りにどのような向き合えるのか、戦後80年の節目に自分ができる平和に向けた行動を考える。

参加された先生からの声



選択コース：浦添城跡

沖縄らしさを感じられたと思います。自然の中のことでもガイドさんが話してくれました。平和学習のまとめとして最適だと思います。今日までの2日間で学習したことが活かされているように思います。

(私立:T中学校)



選択コース：ひめゆり平和祈念資料館

戦争を知らない世代にどうやって平和の大切さや戦争の歴史を伝えていくかが課題でした。資料館見学だけで終わらず、見学した内容をもとに自分の意見や感想をアウトプットすることができた点や現状の社会課題と関連づけられている点が目的に沿っていました。

(公立:M高校)

かかず

① 嘉数高台公園



沖縄戦で最初の激戦地となった地域。展望台からは普天間基地を間近に見ることができ、基地内だけでなく、**周りに住宅や学校等が密集している様子**を実感することができます。おきなわ世界塾スタッフが案内し、生徒の気付きや疑問を共に考え、後半のプログラムに繋げていきます。

ワークショップ例：住民の声カード

沖縄に暮らす様々な立場の人の声を元にしたワークショップ。基地がもたらす利点や課題を読み解き、何が平和な社会を妨げているかを考える。

うらそえ

② 浦添城跡

協力団体：NPO 法人
うらそえ歴史ガイド友の会



沖縄戦で日米両軍の激戦地となった前田高地がある場所。高台からは普天間基地を見ることができ、米軍機の飛来に遭遇することもあります。また、沖縄戦当時住民が避難していたガマが残り、慰霊碑が建立されています。ここは、**グスク時代(12～16世紀)の中心地**でもあり、王の墓や石畳が残っています。小グループでフィールドワークを行いながら、各ポイントでガイドから話を聞きます。

ワークショップ例：ピースクリエイターになろう

スタッフの体験談をヒントに平和を創造する人はどんな人かをイメージし、その人物像に近づくための第一歩を考える。
企画アドバイザー：NPO 法人これからの学びネットワーク

はえばる

④ 南風原文化センター



かつて、沖縄から南洋群島や南米に多くの人が移民したのをご存知でしょうか。移民の歴史と沖縄戦は切り離せないものであり、戦後の沖縄は移民先の「**ウチナーンチュ**」からの**支えがあって復興**してきました。住民から寄贈された物や地道な調査結果を元に、貴重な展示をしている南風原文化センターを会場に、**移民先や、移民から戻ってきた人に焦点を当てて、「沖縄戦」について学びます。**



短時間プログラムのご紹介

(60分～90分)

生徒の気付きや疑問を整理するためにも、資料館等の見学の後に振り返りの時間を持つことをお勧めしております。また、宿泊先での夕食後等、隙間時間を学びの要素で埋めたい場合にご活用下さい。

【実施例】

平和学習の振り返り：

沖縄滞在中に感じたこと、学んだことを意見交換し、多角的な気づきと学びを深める。

キャリア教育：

国際協力実践者の体験談を聞き、世界で活躍するために必要な要素や自分が伸ばしていきたいスキルを、シミュレーションワークや自己成長を可視化するプロGRESSシート(当会オリジナル教材)を用いて考える。



「沖縄で考える」 地域課題探究 プログラム

ねらい

- ①沖縄ならではの地域課題を通し、SDGs 目標達成における、取り組み事例について学ぶ。
- ②持続可能な社会を作るために、自分たちの地元に戻って取り組むべきことを考える

① 多文化共生



協力団体：
(一社) 沖縄市観光物産振興協会
在住外国人の多いコザの街歩きを通して、多国籍なチャンプルー（ごちゃまぜ）文化を体感し、習慣や価値観、バックグラウンドが異なる人達と共に暮らすことを考え「当事者の一人」なのだという意識を持たせます。

② 世界人



島国ならではの水不足の課題を抱える沖縄と、JICA 海外協力隊として体験してきた開発途上国の水問題などを比較しながら紹介し、「治水」「循環」「気候変動」「衛生」「防災」「思想」などの多角的な視点から水問題、水資源の価値や使用できる質と量を考えます。

③ 命どう宝



国際保健や離島ならではの地域医療など、地理的・歴史的な背景が作った独特な公衆衛生のストーリーを辿ります。戦後復興を支えてきた「公衆衛生看護師」を通して、沖縄の保健医療の経験から気づくこと、看護分野から見る、エッセンシャルワーカーとして必要な視点を養います。

④ ゆいまーる



「いざ行かむ 吾等の家は五大州」海外に渡った先人たちが困難と葛藤を乗り越え、アイデンティティの継承と地縁コミュニティによる支え合いの精神を紡いできた経験をもとに、だれもが不平等なく、地球市民として、今後グローバル社会に必要な相互扶助を見つめなおします。

参加された先生からの声



選択コース：⑤ 自然

沖縄は自然も豊かで美しい場所ですが、その美しさを保つためには不断の努力がなくてはならないことが伝わってきました。前半のフィールドワークからの後半のカードアクティビティの流れが子どもたちの興味を飽きさせない、その後やりっぱなしではなく最後に振り返り、今日の活動の意味を丁寧に教えてくださった点は非常に良かったです。子どもたちも集中することができました。

(私立：H中学校)



選択コース：⑦ 伝統文化

三線が宮廷から庶民の方々でも楽しめる歴史や琉歌の構成を学べたことが新鮮でした。楽しく身近で親しみやすい導入と展開で生徒たちを惹きつけてくださり、集中力が高まったタイミングでSDGsの学習に入り、進めてくださいました。

(私立：K高校)

⑤ 自然



協力団体：
沖縄自然環境ファンクラブ
都市の中に残された沖縄独自の生態系を観察し、「亜熱帯多雨林」の固有種、島の成り立ちなど本州とは異なる生物多様性について学びます。ヒトも自然界の一部であり、環境保全の必要性を立体的に見るコースです。

⑥ 島・ひと・シゴト創生



協力団体：
新光産業（株）
戦後復興中、沖縄の産業形態から見てくる地方ならではの課題。コミュニティ開発・地方創生とは？「貧困」「産業」「雇用」について社員インタビューを通し、働きがいや経済成長について問いかける内容です。

⑦ 伝統文化



協力団体：
沖縄県三線製作事業協同組合
琉歌や三線、三板による独特のリズム体験を通し、沖縄の歌に込められた祈りや知恵を学びます。担い手不足などの要因から継承していく難しさ、文化継承のため希少な資源をつかう責任を見つめ直すコースです。

⑧ 開発と文化



協力団体：
(NPO 法人) ハマスーキ
古くから水産業が盛んで旧暦文化が色濃く残る糸満市。開発が進み、生活様式の変化に触れ、トレードオフがどうすれば解消されるか、20年後、自分たちの住む街がどのような社会になってほしいかを考えます。

官公庁 大学生 企業向け プログラム

大学や企業向けにもオーダーメイドで要望に応じた更に学びの深い1日～3日間などのプログラムも提供しています。

参加された先生からの声



選択コース：ゆいまーる

事前学習から現地でのフィールドワーク等、内容が充実していて学生も楽しみながら学習できました。「移民」というテーマが身近なところにあったという点、歴史的背景や地理的特性など考えるべき点が非常に多く、歴史・文化・社会問題など様々な視点から沖縄について学ぶことができました。

(私立：O大学)



選択コース：多文化共生

コザの街を実際に街を歩き、多種多様な背景を持つ在住外国人ゲストの声を聞くことで、多文化共生のあり方や、それに伴う課題や可能性について参加者が考える機会になり、教科書やガイドブックだけでは得られないリアルな体験ができました。

(行政：ウチナーネットワーク形成のための交流事業)

① 官公庁向けプログラム



外務省 NGO インターンプログラムの現地視察や、教育委員会が運営する海外ホームステイの事前・事後学習プログラムなど、国際協力の将来を担うキャリア研修や人材育成にご利用いただいています。

② 大学生向けプログラム



大学のゼミ旅行や授業演習のテーマとして「沖縄でしかできない平和学習」「沖縄の強みを活かした国際協力」「沖縄が抱えるSDGsから見る課題解決」を学ぶプログラムの提供を求められています。おきなわ世界塾ではフィールドワーク＆ワークショップの実施だけでなく、目標設定からアクションプラン策定までお手伝いしています。

③ 企業向けプログラム



企業向けの社員研修として、新入社員のチームビルディング、他部署間の相互理解、リーダー研修、組織体制強化などのプログラムも用意しております。

おきなわ世界塾 2024年度の実績

うち、リピート件数
15 件

約5割の学校が
リピート校です！

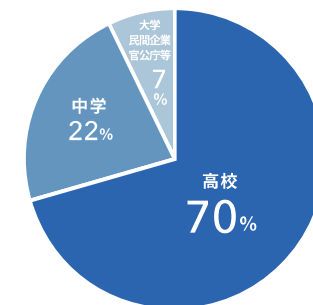
27 件 4,100 名

(これまでの実績：188件 25,719名)

校種別で見ると…

高校が約7割を占めています。

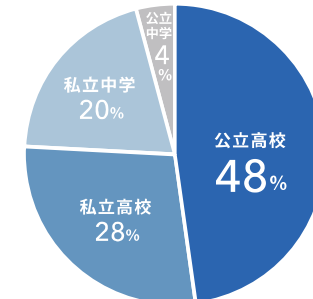
その多くの学校がリピートしてご利用いただいております。コロナ禍が明け、大学・企業等の研修での利用も増えてきました。



学校区分で見ると…

公立高校の
需要が増えています。

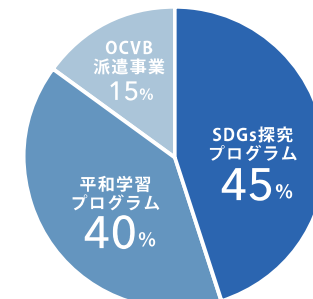
開始当初は私立学校からの申込みがほとんどでしたが、公立学校の割合が増え、特に高校生の受け入れが伸びています。



実施プログラムの割合は？

SDGs 探究プログラムの利用が
半数近くを占めています。

沖縄の修学旅行と言えば平和学習ですが、昨今のSDGs学習需要の高まりによりSDGs探究プログラムのご利用が多いです。おきなわ世界塾では、「沖縄ならではの」SDGs 目標達成における取り組み事例について学ぶことができるのが特徴です。



※2025年度よりSDGs探究プログラムは地域課題探究プログラムに名称変更しました

※「OCVB派遣事業」＝沖縄観光コンベンションビューローが行う派遣事業のことで、当会職員が登録しているアドバイザーを派遣し、主に事前学習の要望を受けています。